

日本財団助成講座

2021年度 2期生

フォスタリングソーシャルワークのための
協働関係構築講座

(2021年 9月18日～2022年3月12日 全10回 定員32名)

自己評価シート集計結果

以下の採点基準により、講座の前後で自己評価を実施した。

	S= 4点	A= 3点	B= 2点	C= 1点
ケアワークとソーシャルワークの協働の意義	協働をととして子どもや地域社会に変化をつくることができている	幾つかの機関や専門職、里親と協働してソーシャルワークを実践できる	里親養育におけるケアワークとソーシャルワークの協働について理解できている	里親養育におけるケアワークとソーシャルワークの協働について理解が十分ではない
計画する力	目標達成のための戦略にそって、自分の行動を定期的に振り返り、必要に応じて（他者の協力を得ることも含め）見直しをすることができる	目標をたてて、それを達成するために戦略をたてて行動することができる	常に行動に移せているとは言えなくても、やるべきことを優先することが「やりたいことやできること」よりも大切であることを理解できている	目標の理解や目標達成のために戦略だてて行動することに難しさを感じる
挑戦する力	既存の枠にとらわれず、リスクへの配慮をしつつ、子ども・実親・地域社会に役立つことであれば新しい目標を立て、挑戦できる。 変化を生み出すための試みに意欲的であり、楽しみながら意見をだすことができている	変化をつくるために、具体的な行動計画をたて、実践に移すことができる 他者の考えやエビデンスに基づいた考えも積極的に行動計画に取り入れることの大切さを理解している	変化をつくりたいポイントは理解できている そのための具体的な行動計画をたてて挑戦したいと思っている	挑戦しないできない理由などを幾つも持っているが、それらに変化をおこすことを諦めていて、挑戦しようとは思えない マニュアルやこれまでのやり方の枠から外れることはできない
やりぬく力	変化を実感できるまでやり抜くだけでなく、そこから更に変化をつくるための新しい目標設定と戦略立てを行い、次のステージでやり抜く力をもっている	目標とそれに向けての戦略を様々な方法で実践し、柔軟に戦略変更をしながら変化をつくるためにやり抜くことができる	計画的ではないが、結果的に充実感や達成感を業務のなかで感じることも稀にある	日々の業務をこなすことを中心に考えていて、達成感を感じることは殆どない































